

うらそえ

10周年記念誌

社団法人浦添市シルバー人材センター

浦添市シルバー人材センター

10周年 記念誌

—社会参加に喜びを求めて—

目 次

(敬称略)

理事長あいさつ	1
祝 辞 沖縄県知事 大田昌秀	2
祝 辞 浦添市長 宮城健一	3
祝 辞 浦添市議会 議長 棚原宏	4
祝 辞 浦添商工会議所 会頭 上地啓右	5
祝 辞 社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合 会長 石野朝忠	6
10周年記念式典	7
10周年記念式典写真	8
表彰伝達	9
アトラクション風景	10
10年の歩み	12
発注者のことば	18
浦添市シルバー人材センター 理事 岸本安正 日本障害者雇用促進協会沖縄障害者職業センター 所長 仲里初男	



目次

(敬称略)

会員のこえ	19
-------	----

宮内 初 雄 弘 司 代
平岸 良 作 孝 吉
岸金 本 千 司
崎武 浜 秀 代
崎

感謝状・表彰状 受賞者ご芳名

感謝状	22
役員表彰者	23
会員表彰者	24
職員表彰者	26
歴代役職員一覧	27
年度別事業実績の推移	29
編集後記	

10周年 記念誌



理事長あいさつ

理事長 照屋 寛順

本日ここに、社団法人浦添市シルバー人材センター設立10周年記念式典を開催するに当たり、大田昌秀沖縄県知事・宮城健一浦添市長をはじめ多数のご来賓並びに関係者各位のご臨席を賜り、このように盛大に挙行できますことに対し、会員並びに役職員を代表致しまして、心より厚く御礼申し上げます。

当シルバー人材センターは、昭和63年6月に会員数231名、初年度事業実績4千4百万円でスタート致しましたが、この間、職群班体制による就業、会員増強、受注開拓、事務局体制の充実等を図りながら事業を進めてまいりました。これにより現在では会員数401名、事業実績2億1千万円余で、会員数にして1.2倍、事業実績で4.8倍と飛躍的発展を遂げております。

これは会員の皆様はもとより歴代役職員・事務局職員並びに関係者の皆様方のたゆまぬご努力とご尽力の賜物であると深く敬意を表し感謝を申し上げる次第であります。

さて、皆様もご承知のとおり我が国の高齢化は一段と加速され、来たるべき21世紀初頭には4人に1人が65歳以上という超高齢化社会が目前に迫っております。

このような高齢化社会のもとで第一線を退いた高齢者の多くは、何らかの形で仕事をとおして社会に貢献したいと考えており、こうしたニーズに応え、生きがいと社会参加の場を提供してきた当センターの役割は、ますます重要になってまいります。

そして、会員一人ひとりの誠意と力がセンターの活動を支え、事業を推進させる原動力となるものと考えます。

また、当センターが更なる発展をしていくためには、新規会員の加入促進と社会の急速な変化に対応した新規業務の開拓に努力し、絶えず活性化を図っていかなければならないと考えております。本日の設立10周年を契機として、尚一層、地域社会に密着し期待され喜ばれるシルバー人材センターとなる様、センターの基本理念でもあります「**自主・自立**」「**共働・共助**」の精神を堅持し、会員・役職員が一体となって努力していく所でございます。

終わりになりましたが、当シルバー人材センター発展のためにご尽力下さいました役職員をはじめ、発注者の皆様、地域の皆様、浦添市当局、関係者各位、そして、会員の皆様に改めて厚くお礼申し上げるとともに、ご臨席賜りました皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念いたしまして、私の式辞といたします。

10周年 記念誌



設立10周年を祝って

沖縄県知事 大田昌秀

社団法人浦添市シルバー人材センター設立10周年記念式典の開催に当たりお祝いのごあいさつを申し上げます。

昭和63年に貴シルバー人材センターが設立されて以来、シルバー事業の理念のもと、理事長をはじめ役職員、会員の皆様が一丸となって事業発展に御尽力くださっていることに対し、心から敬意を表します。

また、本日栄えある表彰を受けられる皆様には、心からお祝い申し上げます。

ご承知のとおり、昭和63年に国の補助団体として発足した浦添市シルバー人材センターは、年々事業実績も向上し、平成10年3月末には会員数401人、契約高2億1千万円を越え、また、事務系の職種の就業開拓や福祉・家事サービス事業にも力を注ぐなど、常に県下のシルバー人材センター事業のけん引役を努めてまいりました。これもひとえに、皆様の仕事に対する熱意と御努力のたまものであり、心から敬意を表します。

さて、我が国においては人口が急速に高齢化しています。

高齢社会の下で、経済の活力を維持していくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた知識・経験を活用し、65歳まで現役として働くことのできる社会を実現していくことが重要な課題とされています。このため、県においては平成10年4月1日から実施された60歳以上定年制の義務化を基盤とする65歳までの継続雇用や事業主団体の参画のもと実施するシニアワークプログラムなど、高齢者の就業機会の確保等の諸施策を積極的に推進することとしています。

なかでも、高齢者の多様なニーズに応じた就業の機会を提供するシルバー人材センター事業は、高齢化が進む中で、今後とも重要な事業であり、また、現下の景気低迷下でも活発な活動を続けられ、地域社会にもなくてはならない存在であると考えています。

県としましても、シルバー人材センター設置市町村・シルバー連合及び各シルバー人材センターと連携を図り、シルバー人材センター事業の発展と拡充に向け今後とも努力していきたいと考えています。

皆様におかれましても、高齢者から大きな期待が寄せられておりますシルバー人材センターが新たな仕事の開拓や会員の拡大を図り、ますます発展していただくよう御尽力をお願い申し上げます。

終わりに、浦添市シルバー人材センターの一層の御発展と、本日、御列席の皆様方の御健勝と御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

10周年 記念誌



設立10周年に寄せて

浦添市長 宮城健一

社団法人浦添市シルバー人材センター設立10周年の佳節に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

ご案内のように、本市のシルバー人材センターは、昭和63年に那霸市、沖縄市に続き県内3番目に設立されて以来、「自主・自立」、「共働・共助」の設立理念のもと、高齢者の社会参加の促進が図られるとともに、就業機会の提供を通して、生きがいづくりに大きく貢献されておりますことは、誠にご同慶にたえません。

その間、本市のシルバー人材センターにおかれましては、会員の加入促進、就業開拓などに積極的に取り組むとともに、専門部会の設置や職群班体制の導入など運営組織の強化を図りながら、理事長はじめ、役職員並びに会員皆様が一丸となって、事業の発展に邁進されております。現在では、400人余に達する会員の輪を広げられつつ、就業延人員並びに就業率の増加をはじめとして、受注契約額も2億円を突破するなど、今日の隆盛を築かれております。

改めて、歴代の理事長をはじめ、役職員並びに会員皆様に対しまして、心より敬意を表し、感謝を申し上げる次第でございます。

また、県内におけるシルバー人材センターの活動状況は、現在8市1町に設立され、会員数3千人余を擁し、契約高も約12億円の実績を上げられる活況を呈しており、平成9年2月には、更なる組織強化のため、沖縄シルバー人材センター連合が設立され、長寿社会の先駆的役割を果たしております。

今や21世紀はある意味で、高齢者の世紀でもあります。近年の定年制の延長をはじめとして、高齢者の再雇用など確実に就労を通じた生きがいの創造に焦点があたりつつあり、シルバー人材センターの存在は、いよいよ「一大生きがい集団」として、少子・高齢社会における新たな生き方の象徴になるものと期待されます。

本市におきましても、21世紀を本格的な高齢社会を前にし、高齢者の社会参加と生きがいの創造は、重要な行政課題となりつつあり、今後なお一層、シルバー人材センターの支援強化とともに、高齢者の自己実現が図られるよう市政を推進して参る所存でございます。

結びに10周年の節目を契機とされ、浦添市シルバー人材センターが、就労の拡大を図りながら地域社会への益々の貢献をされますよう期待を申し上げるとともに、併せて関係者並びに会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げて、お祝いの言葉と致します。

10周年 記念誌



10周年記念を迎えて

浦添市議会 議長

棚 原 宏

シルバー人材センター設立10周年おめでとうございます。市議会を代表してごあいさつを述べさせていただきます。

シルバー人材センターは昭和63年に設立されましたが、この間、厳しい経済情勢の中、役職員並びに会員の皆様方が一致団結して順調な事業実績を上げ、高齢者の就業機会の拡充に大きく貢献してこられました。誠に喜ばしいかぎりであります。着実な成果をおさめ、ここに10周年の節目を迎えられましたが、ひと口に10年といいましても、その歳月の中には幾多の諸問題を抱え、ご苦労も多々あったことと存じます。直面する問題解決のための必至の努力により、事業実績を上げてこられたわけでございますが、これもひとえに関係者の皆様方のご支援とご尽力の賜と、心から感謝を申し上げますとともに敬意を表する次第でございます。

さて、わが国は世界一の長寿国となり、人口の高齢化は急速に進んでおります。行政でも高齢化社会の移行に対応して諸施策の推進を積極的に展開しているところでございますが、とりわけ高齢者の社会参加をしての雇用対策は極めて重要な課題であります。このような中で、シルバー人材センターは高齢者が知識と経験を生かし、仕事を通して社会参加する場として重要な役割を果たしており、その意義は誠に大きく今後ますますニーズは高まっていくものと存じます。

どうか今後ともシルバー人材センターにおかれましては、多くの方々のご尽力とご支援により築き上げてきた10年の事業実績を基にして、幅広い活動を展開し、それぞれに合った仕事や働く場を提供してもらいたいと存じます。また、会員の皆様方には安全就業の徹底を図り、健康新保にも十分ご留意なされ、生きがいのある仕事が継続できることをご期待申し上げます。

本日表彰を受けられました皆様、おめでとうございます。そのご功績に対しまして心から敬意を表します。

終わりに、設立10周年を契機として、シルバー人材センターがますます充実発展されますことをご祈念し、併せて皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、私のごあいさついたします。

10周年 記念誌



10周年の 節目を迎えて

浦添商工会議所 会頭 上 地 啓 右

社団法人浦添市シルバー人材センターが設立10周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであり、心からお祝いを申し上げます。

ご承知のとおり同センターは、生き甲斐を求めて働く意欲のあるご高齢者の方々に仕事を提供することによって社会参加を促すことを目的として組織された公益法人であります。

同センターでは、昭和63年の設立以来会員の拡大と組織の充実・強化に努めてこられ、会員数ならびに受注件数ともに年々増加し、順調に推移しております。

それもこれも、人生80年時代と云われるよう、高齢化社会の進展に伴って、人生を有意義に過ごしたい、現役を引退した後もなんらかの形で働き続けたいと希望する高齢者の方々が増えてきたことを物語っております。

それと同時に、シルバー人材センターの存在意義が地域社会全体に理解されてきたことや仕事ぶりが高く評価された結果であろうと推察いたすものであります。

沖縄県は、百歳以上の長寿者が人口比で9年連続日本一という長寿県であり、そのことは、今後もなお続くことが予想されます。そういうことからいたしましても、老後も健康で暖かい恵まれた地域社会を築く上では、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要となっております。

社団法人浦添市シルバー人材センターが、設立10周年という節目を契機に、ますますご発展されることを祈念申し上げます。併せて、会員各位ならびに役員各位のご活躍を祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。

10周年 記念誌



10周年に寄せて

社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合
会長 石野朝忠

浦添市シルバー人材センター設立10周年おめでとうございます。

記念式典にあたり一言お祝いを申し上げます。

さて、貴センターは昭和63年6月に設立されまして、今年10年という大きな節目を迎えられました。まことによろこばしいことでありますご同慶に耐えません。

貴センターの設立時は会員231名でしたが、事業契約高をみてみると、4千4百万円と初年度としては驚異的な事業高を上げております。爾来年々事業は拡大発展を遂げ、10周年を迎える今日、会員数401名、契約高2億1千万円と極めて順調な事業実績を上げております。そのことは理事長をはじめ役職員・会員の皆さんのが地域のニーズを大切にした幅広い事業推進に努力された賜であります、ここにあらためて衷心より敬意を表するものであります。

いま、我が国、我が県は高齢社会へまっしぐらにつき進んでいる状況にあります、これからのシルバー人材センター事業をどのように推進し、拡大・発展を図っていくか大きな課題がありますが、今後とも会員一人ひとりが福祉の受け手から担い手になることをモットーにして、自主・自立、共働・共助の基本理念をふまえて、活力ある地域社会づくりに貢献をしていくことが最も大切なことではないでしょうか。そのためにはシルバーパワーを存分に発揮するシルバー人材センターでなければならぬと思うであります。

最近の資料であります、シルバー人材センターで働く会員の健康調査や老人医療費の調査結果をみてみるとシルバー人材センター会員の健康度、なかでも医療費は同年齢層の一般市民にくらべて約1／3から半分以下といった低い支出状況になっていることが明らかになっておりまして、それから致しますといふにシルバー人材センターの会員が健康であり、老人医療費の節減にも大きく貢献しているかがわかるのであります。

そしていまや、シルバー人材センター事業も拡大をつづけ、全国で50万人に近い会員を擁する一大事業に発展し、全国に連合体制が出来上がったこととあわせて21世紀初頭には100万人会員達成に向けた組織体制が整ったことになります。事業の面でも新規事業として今年度からシニアワークプログラム(略称S P)事業を実施することになりました。このS P事業は、高齢者の雇用就業ニーズに応えていくための事業であります、一方経済不況の中、中小企業がリストラを余儀なくされているなかで高齢者活用のニーズにも応えていくための事業にもなっているであります。

このように、シルバー人材センター事業は、時代の要請にマッチした事業であります、21世紀の超高齢社会を担う事業として全国民的負託に応えていかなければなりません。

浦添市シルバー人材センターが、本県における中心的役割を果たして頂きますよう期待申し上げるところであります。

終わりに、会員の連帯と強い絆を基礎とした事業の発展とあわせて理事長はじめ役職員・会員のご健勝を心から祈念申し上げ祝辞といたします。

誠におめでとうございました。

浦添市シルバー人材センター

10周年 記念式典

記念式典

1. 開式のことば
副理事長 宮里親一
2. 式 詞
理事長 照屋寛順
3. センター10年のあゆみ
事務局長 真栄城玄誠
4. 祝 詞
沖縄県知事 大田昌秀
浦添市長 宮城健一
浦添市議会議長 棚原宏
浦添商工会議所
会頭 上地啓右
沖縄県シルバー人材センター連合
会長 石野朝忠
5. 感謝状・表彰状贈呈
6. 受賞者代表あいさつ
理事 上地安盛
7. 祝電披露
司会 棚原晴美
8. 閉式のことば
理事 岸本安正

祝賀会

- 幕開け
理事 安里武泰他8名
- 1. 開会のことば
理事 宮城義雄
- 2. 主催者あいさつ
理事長 照屋寛順
- 3. 鏡開き
理事長 他9名
- 4. 乾杯
理事 平良平太郎
- 5. 余興
(1) 日舞 会員 積トミ子他2名
(2) すんどこ節 事務局及び会員 12名
(3) あしひなー 会員 宮内初雄他70名
(前川守賢と共に演)
(4) いにしり節 会員 名越フミ他5名
(5) 空手演舞 会員 知念政信他3名
(6) クイチャー 会員 上地泰吉他17名
(7) カチャーシー 全員
- 6. 万歳三唱
理事 宮平昇
- 7. 閉会のことば
理事 吉濱活

浦添市シルバー人材センター

10周年 記念式典

設立十周年記念式典の会場



式辞を述べる
照屋寛順 理事長



開会の辞を述べる
宮里親一 副理事長



式典にご参列の来賓の皆様



来賓・役職員の皆さん



式典司会の棚原晴美さん

10周年 記念式典

祝辞



県知事代読・県出納長
山内徳信



浦添市長
宮城健一



浦添市議会議長
棚原 宏



浦添商工会議所 会頭
上地啓右



300人を超す会員で埋まった式典会場

役員・職員の表彰



感謝状を受ける団体・事務所



感謝状の伝達



受賞者を代表して謝辞を述べる
上地安盛 理事



受賞者の皆さん



県シルバー人材センター
連合会長 石野朝忠



センター10年のあゆみを述べる
真栄城玄誠 事務局長



閉会の辞を述べる
岸本安正 理事

浦添市シルバー人材センター

10周年 記念式典



司会を務める前川守賢さん

アトラクション



会員による幕開け



乾杯の音頭を行う



来賓の皆様による鏡開き



メイクも鮮やか



職員と会員によるズンドコ節



70名の会員による余興



祝賀会に参加の会員の皆様

10周年 記念式典

アトラクション

シルバー人材センター



余興 空手演舞



余興 クイチャー



余興 特別出演 鼓衆 若太陽



可憐な演技を披露



フィナーレを飾るカチャーシー



シルバーの発展を期してバンザイ三唱



祝賀会会場を後にする

10周年 記念誌

10年の歩み



1987年(昭和62年)

- S.62. 4. 1 浦添市役所商工課にシルバー人材センター設立準備室設置
12. 4 第1回設立準備協議会開催

1988年(昭和63年)

- S.63. 4.30 社団法人浦添市シルバー人材センター設立総会開催
6. 1 **社団法人浦添市シルバー人材センター設立許可**
6. 2 シルバー人材センター事務所を浦添市社会福祉センター2階に開設
6.15 シルバー会員初就業
7.11 就業開拓のため市内事業所訪問
8. 8 PR用パンフレット市内全世帯に配布
9. 6 第1回理事会開催
12.12 第1回技能講習会(障子・襖張り)

1989年(平成元年)

- H.1. 3.25 役員(理事)先進地シルバー人材センター視察研修、(福岡市、古賀町)
4.19 会員対象者へ会員募集案内書を発送
5.22 第1回通常総会 於:市社会福祉センター
6.30 奉仕作業(市民会館・市立図書館周辺)
7. 4 沖縄県シルバー人材センター連絡協議会設立総会
10. 6 会員交流ピクニック
11.28 宛名書講習会

10周年 記念誌

1990年(平成2年)

- H.2. 4.12 平成元年度 決算監査
- 8.13 賛助会員募集のため、事業所訪問
- 10.10 牧港の作業場、伊祖へ移転
- 11.24 浦添市健康福祉まつり出展
(パネル展示・パンフレット配布)



1991年(平成3年)

- H.3. 1.19 新春の集い開催
- 3.10 会員交流グラウンドゴルフ大会
- 4. 2 浦添大公園業務委託契約
- 5.20 講演会(高齢期の食事と健康)
- 10. 4 リサイクル(資源ゴミ回収)業務開始



1992年(平成4年)

- H.4. 6. 5 市老人クラブ大会にて会員募集チラシ配布
- 7.31 沖縄タイムス シルバー人材センター記事掲載
- 8.19 会員募集ハガキ発送(対象者1,480人)
- 10. 1 広報うらそえ シルバー人材センター記事掲載



1993年(平成5年)

- H.5. 3. 1 安全講習会(救急法)
- 7.21 大平高校放送部 取材
- 10. 7 会員募集用リーフレット配布
(市役所・銀行・郵便局)



10周年 記念誌



10年の歩み

- 11.15 障子・襖張替講習会
12.21 安全委員会

1994年(平成6年)

- H.6. 1.24 シルバー新春の集い
1.27 山口県徳山市シルバー職員来所
2.15 シルバ一年金説明会
2.29 安全就業推進員研修会(福岡市)
4. 5 軽作業班懇談会
8. 1 機関紙「シルバーだより」第6号発行
8. 8 市長へワークプラザ建設促進要請
12. 2 グラウンドゴルフ同好会発足

1995年(平成7年)

- H.7. 2.18 浦添市・宜野湾市・沖縄市会員交流グラウンドゴルフ大会
6.20 福祉家事援助サービス事業 料理講習会
7. 8 健康管理講習会
9.25 シルバー普及啓発ポスター配布(各自治会)
11.17 交通安全講習会
12. 8 会員交流ピクニック(南部観光)

1996年(平成8年)

- H.8. 1.12 新春の集い
3. 9 奉仕活動(大平バス停周辺)
5.25 刈払機安全使用講習会

浦添市シルバー人材センター
10周年
記念誌

- 6. 1 機関紙「シルバーだより」第10号発行
- 6. 8 技能講習会(ペンキ・ニス・トリーマー)
- 10. 1 シルバー普及啓発ポスター配布
(各自治会等)
- 10.23 先進視察研修発表会(会員3名発表)
- 11. 1 職群班発足(19の班設置)
- 11. 3 ピクニック兼グラウンドゴルフ大会
(具志川レクセンター)
- 11.13 ワークプラザ建設について先進地視察



1997年(平成9年)

- H.9. 1.22 「月刊シルバー・沖縄編」取材受入
- 2. 9 会員交流ピクニック(玉泉洞王国村)
- 3.11 西原町シルバー人材センター会員との交流会
- 4. 4 専門部会発足(総務部・事業部・広報部)
- 7.28 会員入会促進研修会
- 9. 5 専門部会視察研修
- 9.21 親睦演芸大会
- 10. 9 技能講習会(宛名・賞状)
- 10.27 安全委員会(安全パトロール実施)
- 11.25 安全就業講演会
(講師:那霸労働基準監督官)



10周年 記念誌

10年の歩み



1998年(平成10年)

- H.10. 1.24 技能講習会(松・黒木の剪定)
- 2.13 まなびフェスタ98に出展
(ぜんざい販売・パネル展示)
- 2.22 グラウンドゴルフ大会
- 3.19 福祉・家事援助サービス事業講習会
- 6.21 救急法講習会(止血法・骨折手当法)
- 7. 3 接遇研修(全会員)
- 7.12 会員交流ピクニック
(伊計島・浜比嘉島) 205名参加
- 8.21 防災訓練(資源ゴミ分別センター)
- 9.13 奉仕活動(社会福祉センター周辺)
- 10.28 設立10周年記念式典及び記念祝賀会
- H.11. 1. 4 第1回新年餅つき大会
- 2.21 第1回理事長杯グラウンドゴルフ大会

